

# 2020年3月期 第3四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2020年2月12日

# 2020年3月期 第3四半期 サマリー

## 概況

企業の設備投資は依然、慎重な見方が続くものの、当社を取り巻く需要環境は底堅く、足もとの受注状況は堅調

1. 主要市場では地域分散、業種分散の効いたポートフォリオが業績を下支え
2. 国内の出荷はQ3以降、弱含むも、来年度に向けた受注状況は堅調
3. 中国は安全意識の高まりに加え、好調業種の需要を捉えたことで、業績は伸長
4. 売上は韓国が大幅に減少するものの他地域で補完、為替、一過性費用の計上等が営業利益に影響

(単位：百万円)	2020/3 期 Q3	前年同期比
売上高	42,753	△2.3%
営業利益	3,947	△15.9%
当期純利益※	2,131	△32.8%

※親会社株主に帰属する四半期純利益 / 為替平均レート 1ドル = 108.7円

## 業績

1

## 2020年3月期 第3四半期 決算報告

2

## 2020年3月期 見通し

3

## 参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2015年3月期-2019年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）
- 事業構造について

# 2020年3月期 第3四半期 決算ハイライト

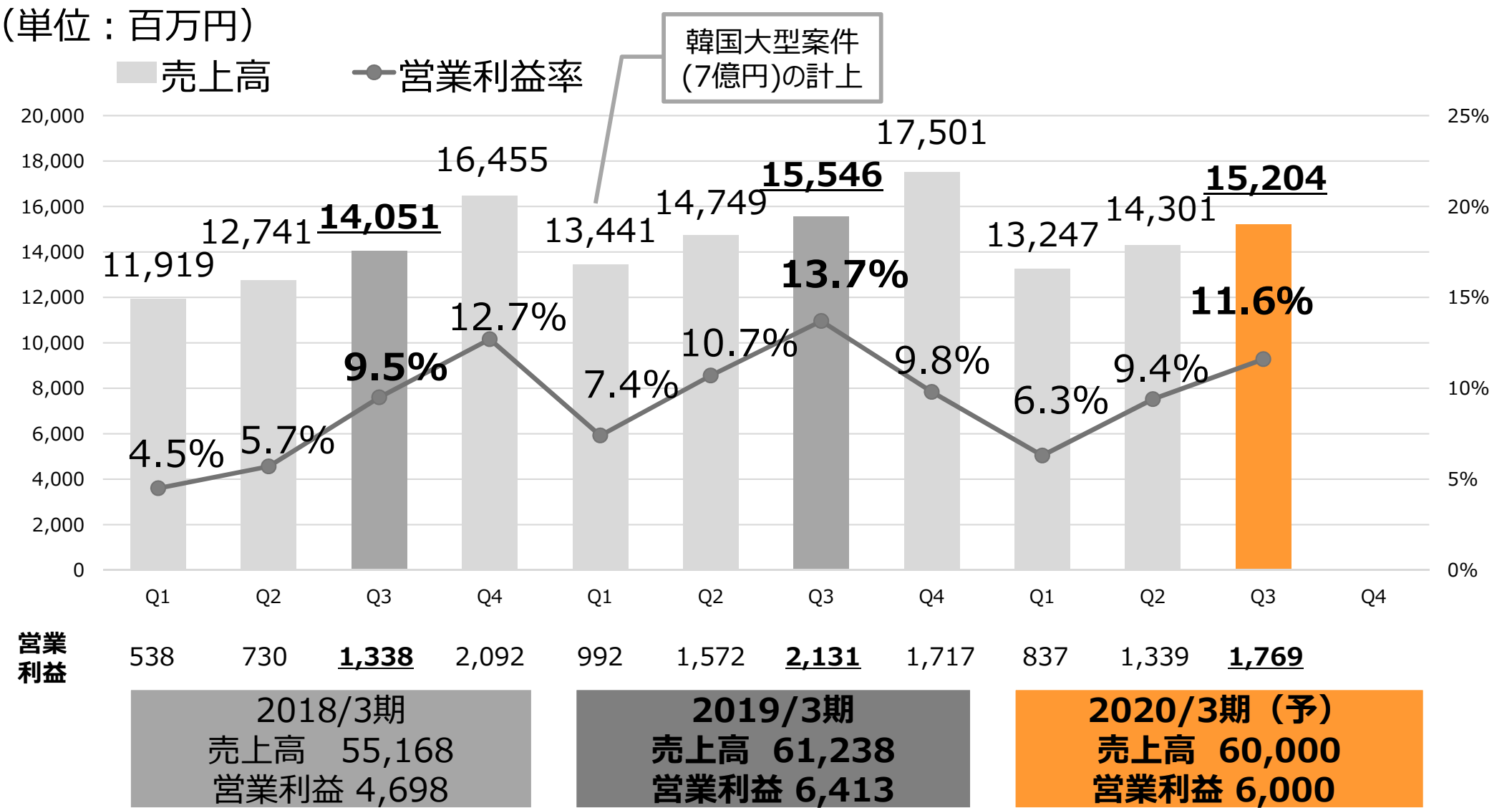
(単位：百万円)	2019/3期	2020/3期	前年同期比
	Q3 累計 (4~12月)	Q3 累計 (4~12月)	
売上高	43,737	42,753	△2.3%
売上総利益 (売上総利益率)	16,408 (37.5%)	16,080 (37.6%)	△2.0%
営業利益 (営業利益率)	4,695 (10.7%)	3,947 (9.2%)	△15.9%
営業外収益	187	140	
営業外費用	729	605	
経常利益 (経常利益率)	4,153 (9.5%)	3,482 (8.1%)	△16.2%
特別損益	82	△45	
法人税等	965	1,226	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (当期純利益率)	3,169 (7.2%)	2,131 (5.0%)	△32.8%
EBITDA =営業利益+償却費	6,704	6,178	

注 為替レート (2019/3期Q3→2020/3期Q3) :

USD 111.1円→108.7円 CAD 85.1円→81.9円 EUR 129.5円→121.0円 RMB 16.8円→15.9円

# 売上高および営業利益率

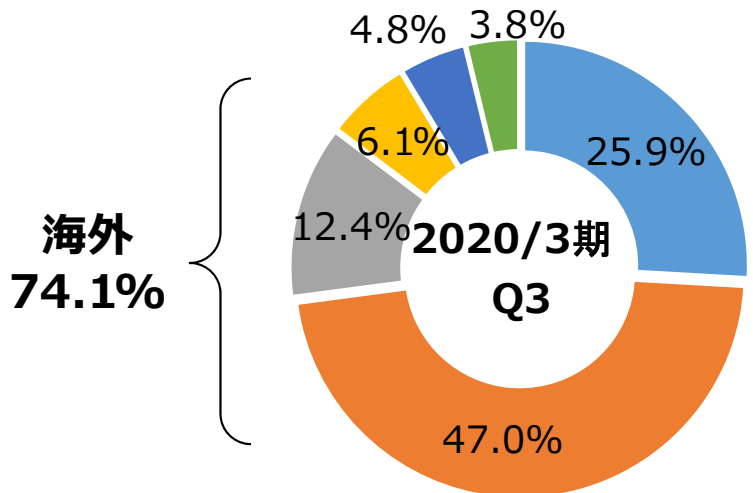
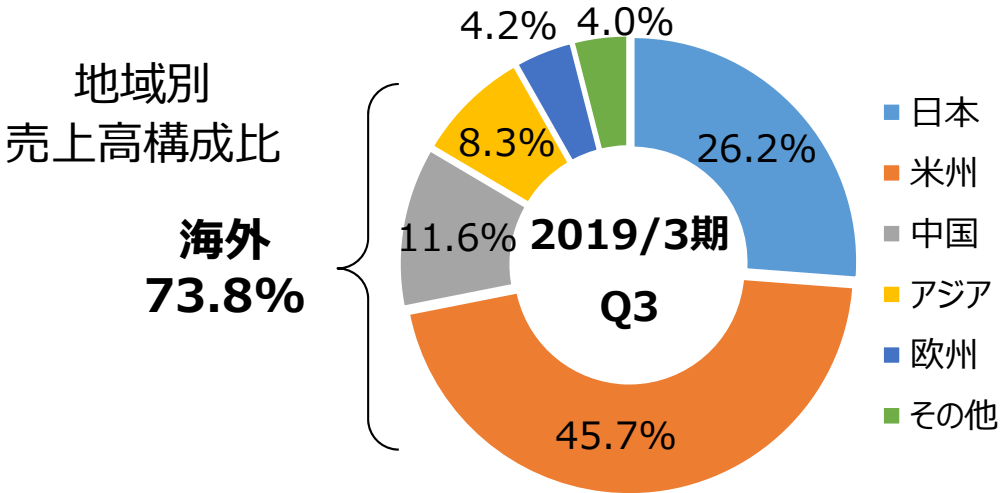
地域、業種分散の効いた幅広いポートフォリオが業績を下支え



# 地域別の状況

(単位：百万円)	2018/3期 Q3		2019/3期 Q3		2020/3期 Q3		前年同期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
<b>売上状況</b>	38,712	100.0%	43,737	100.0%	42,753	100.0%	△984	△2.3%
<b>日本</b>	9,193	23.7%	11,440	26.2%	11,080	25.9%	△360	△3.1%
<b>米州</b>	19,070	49.3%	20,003	45.7%	20,093	47.0%	90	0.5%
<b>中国</b>	4,370	11.3%	5,062	11.6%	5,324	12.4%	261	5.2%
<b>アジア</b>	2,798	7.2%	3,639	8.3%	2,590	6.1%	△1,048	△28.8%
<b>欧州</b>	1,451	3.7%	1,822	4.2%	2,051	4.8%	228	12.6%
<b>その他</b>	1,828	4.8%	1,769	4.0%	1,613	3.8%	△156	△8.8%

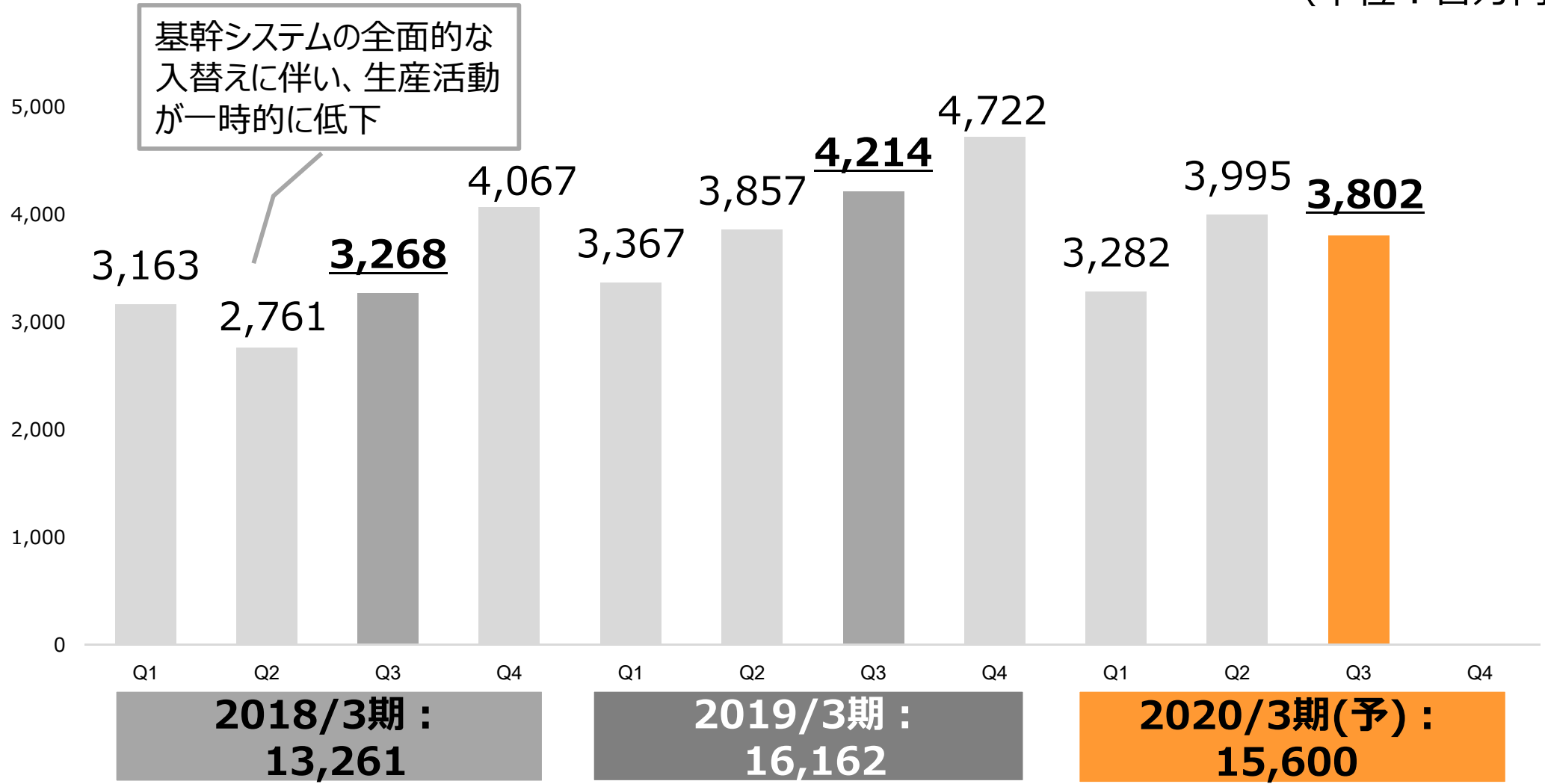
注 為替レート (2019/3期Q3→2020/3期Q3) :  
 USD 111.1円→108.7円 CAD 85.1円→81.9円 EUR 129.5円→121.0円 RMB 16.8円→15.9円



# 地域別売上高（日本）

- Q2までにおける堅調な出荷も、Q3に入り、足もとはやや弱含み
- 一方、来年度に向けた受注状況は好調
- インフラ関連等、レンタル機器の稼働率は引続き高水準で推移

(単位：百万円)



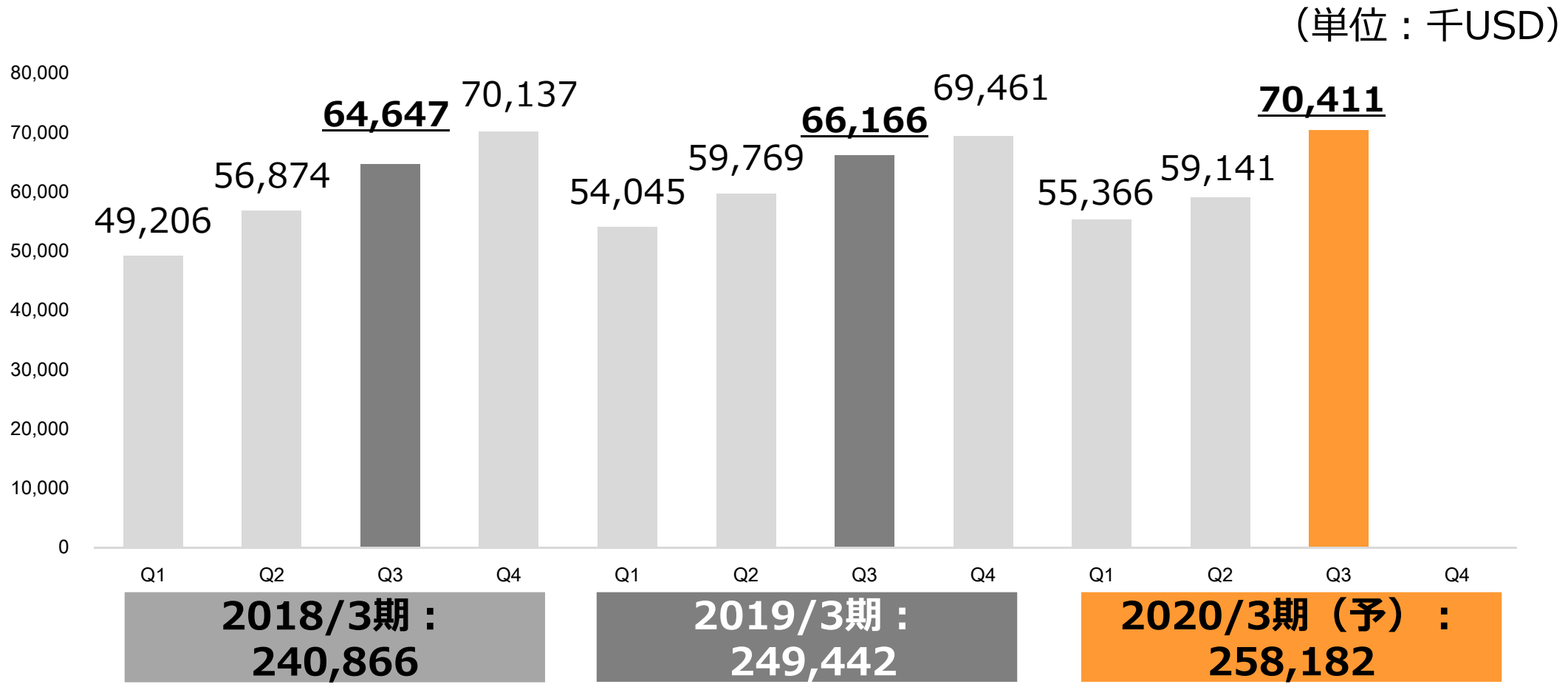
# 地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ及び中南米市場（USDドル換算）を加算した金額の推移

## ◇米州事業の特徴

日本と同様にホイストを中心としたマテハン事業に加えて、ピアレス社のクサリ関連事業で構成

- 対中貿易摩擦、政権運営により不透明感が拡大するも、受注は堅調





# 地域別売上高（中国）

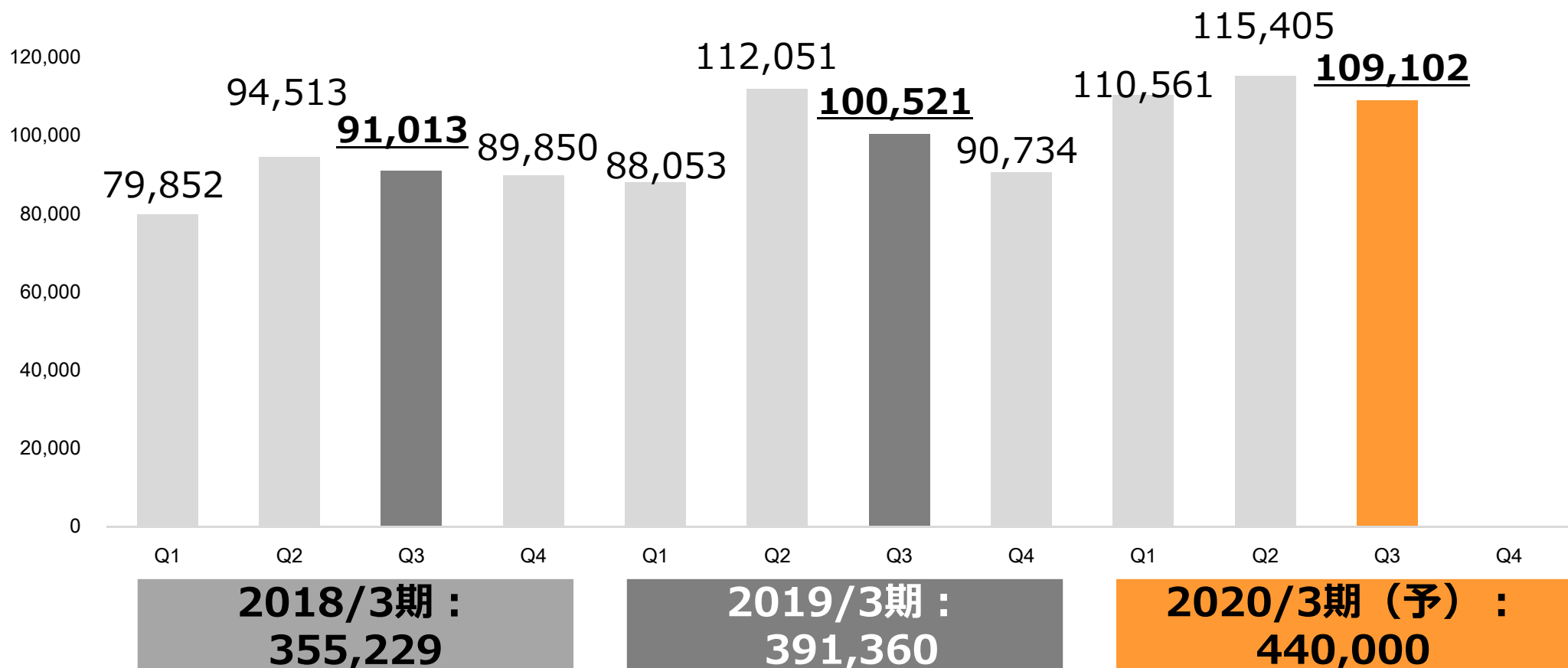
※中国は1-12月決算

◇中国事業の特徴：

中国市場向けロープホイストの製造販売と、日本からの高機能製品の輸入販売が事業の2本柱

- 景気全体が弱含む中、商用車関連、電力・鉄道等、内需好調産業が業績を牽引
- 安全意識の高まりによりシェアは拡大傾向、増収トレンドを継続
- 収益性を重視した事業運営により着実な利益を計上

（単位：千RMB）



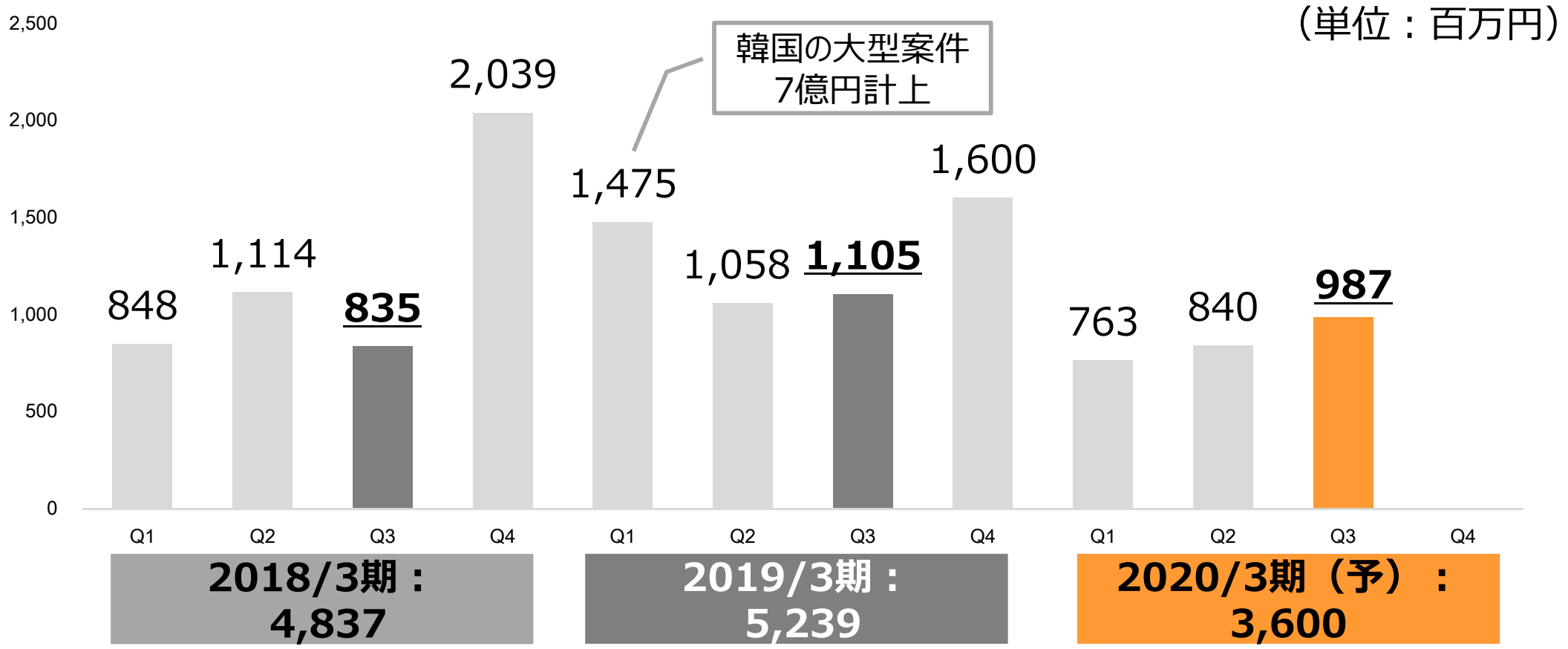
# 地域別売上高 (アジア)

※タイ、韓国、台湾は1-12月決算、インドネシア、インドは4-3月決算

◇アジア事業の特徴：

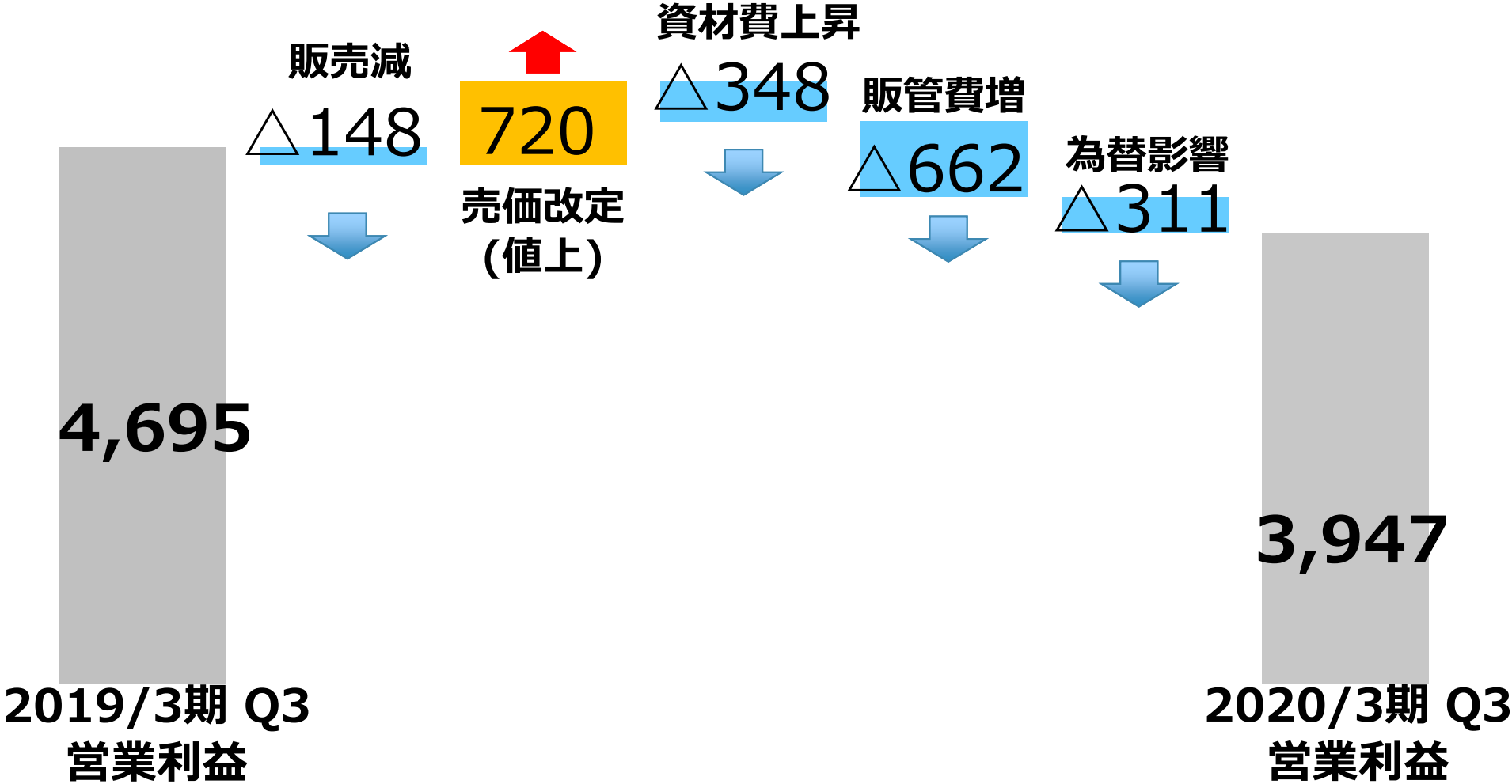
韓国、タイで、当地域の売上の70%を占める。事業構造を見直し収益性拡大を図る。

- 韓国は前年計上の大型案件及び経済全体の減速の影響により減収
- 東南アジアの自動車関連産業の減速により、出荷は弱含み
- 事業構造見直しによる、収益性改善に注力



# 営業利益の比較

(単位：百万円)



# 2020年3月期 第3四半期連結貸借対照表（前年同期比較）

単位：百万円	2019/3期 Q3	2020/3期 Q3	増減額
<b>流動資産</b>	39,319	39,961	641
現金及び預金	8,471	8,631	159
受取手形及び 売掛金	11,558	10,430	△1,128
たな卸資産	18,057	19,396	1,339
その他	1,232	1,502	270
<b>固定資産</b>	22,447	22,444	△2
有形固定資産	10,704	11,915	1,211
無形固定資産	6,356	5,420	△935
投資その他の資産	5,386	5,108	△278
<b>資産合計</b>	61,766	62,405	639

単位：百万円	2019/3期 Q3	2020/3期 Q3	増減額
<b>流動負債</b>	19,140	20,442	1,302
支払手形及び 買掛金	6,791	6,487	△303
* 短期借入金	6,863	8,089	1,225
その他	5,485	5,865	379
<b>固定負債</b>	16,624	14,691	△1,933
長期借入金	13,437	11,201	△2,235
その他	3,186	3,489	302
<b>純資産合計</b>	26,001	27,272	1,270
<b>負債純資産合計</b>	61,766	62,405	639

\* 1年内返済予定の長期借入金を含む

1

2020年3月期 第3四半期 決算報告

2

2020年3月期 見通し

3

参考資料

- 過去5期分の業績・財務情報（2015年3月期-2019年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）
- 事業構造について

## 日 本

### 市場環境

- 再開発、災害復旧、インフラ老朽化対策等の仮設需要は旺盛
- 民間設備投資需要はやや弱含む

### 取り組み

- 活況なインフラ関連事業にスポットをあてた専任営業を設置
- 効率的なモノづくり実現のために生産ラインの改革に着手
- 来期に向けたプロジェクト案件の取り込みに注力

## 米 州

### 市場環境

- 需要は幅広い産業での底堅い推移を見込む
- インフラ関連投資、エネルギー関連産業に期待

### 取り組み

- 納期短縮、質の高いサービスによる顧客満足度向上
- 製品品揃えを拡充し、顧客を取り込む
- チェーン生産能力増強への投資を実施

## 中 国

### 市場環境

- 商用車生産関連を中心とした設備投資が好調
- 環境、品質を重視する方向への社会志向の高まり

### 取り組み

- 好調業種の設備投資需要を捉え、販売拡大を図る
- 日本製プレミアムセグメント製品のさらなる需要掘り起こし
- 適正なコスト管理による安定した利益体質の確立

## ア ジ ア

### 市場環境

- 東南アジアにおいては自動車を始めとした輸出が減少
- 韓国、台湾の投資需要は低迷が続く

### 取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化
- 事業効率化による利益改善策を継続

## 欧 州

### 市場環境

- 自動車産業をはじめとした製造業全体の減速

### 取り組み

- 子会社との相乗効果拡大、さらなる市場の開拓

# 2020年3月期 地域別業績予想見直し

(単位：百万円)	2020/3期	2020/3期	見直し額	内容
	2019/11計画 (前回)	2020/2計画 (今回)		
売上状況	60,000	60,000	—	
日本	16,200	15,600	△600	足元の状況を鑑み修正
米州	27,900	28,200	+300	需要堅調
中国	6,800	6,900	+100	為替影響
アジア	3,500	3,500	—	
欧州	4,000	4,000	—	
その他地域	1,600	1,800	+200	想定下限からの上振れ

注 為替レート (前回→今回) :

USD 108.0→108.9円 CAD 80.0→82.4円 EUR 118.0→121.4円 RMB 15.0→15.8円



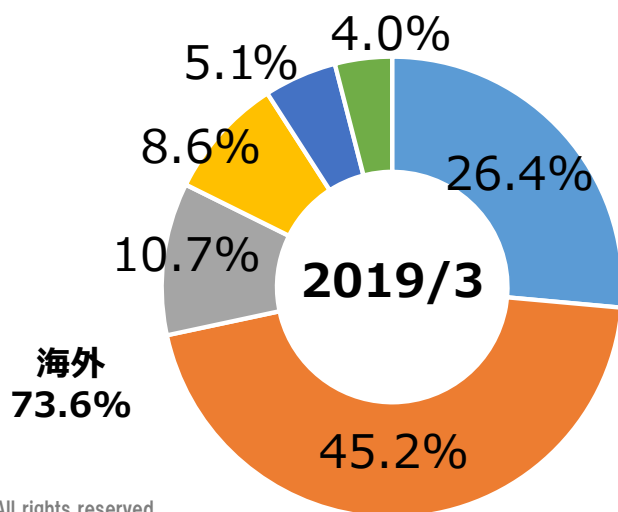
# 2020年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2019/3期		2020/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	61,238	100.0%	60,000	100.0%	△1,238	△2.0%
日本	16,162	26.4%	15,600	26.0%	△562	△3.5%
米州	27,663	45.2%	28,200	47.0%	537	1.9%
中国	6,539	10.7%	6,900	11.5%	361	5.5%
アジア	5,239	8.6%	3,500	5.8%	△1,739	△33.2%
欧州	3,204	5.1%	4,000	6.7%	796	24.8%
その他地域	2,430	4.0%	1,800	3.0%	△630	△25.9%

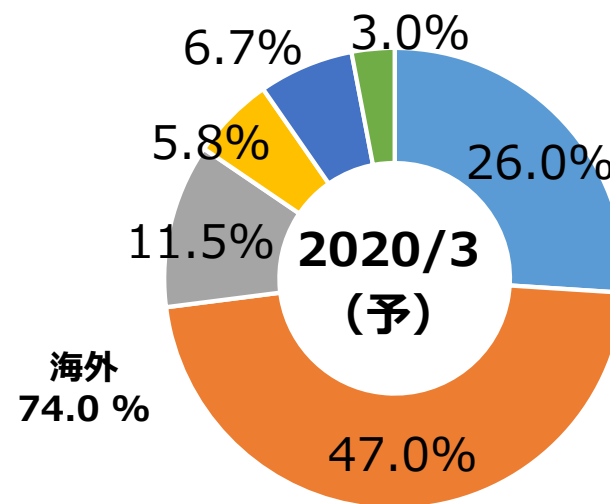
注 為替レート (2019/3期→2020/3期) :

USD 110.9→108.9円 CAD 84.6→82.4円 EUR 128.4→121.4円 RMB 16.7→15.8円

地域別  
売上高構成比



- 日本
- 米州
- 中国
- アジア
- 欧州
- その他



# 2020年3月期 業績予想

(単位 百万円)	2019/3期	2020/3期 (予想)	前期比
売上高	61,238	60,000	△2.0%
営業利益 (営業利益率)	6,413 (10.5%)	6,000 (10.0%)	△6.4%
経常利益 (経常利益率)	5,748 (9.4%)	5,500 (9.2%)	△4.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	4,064 (6.6%)	3,700 (6.2%)	△9.0%
EBITDA =営業利益+償却費	9,201	9,100	
設備投資	1,416	4,000	

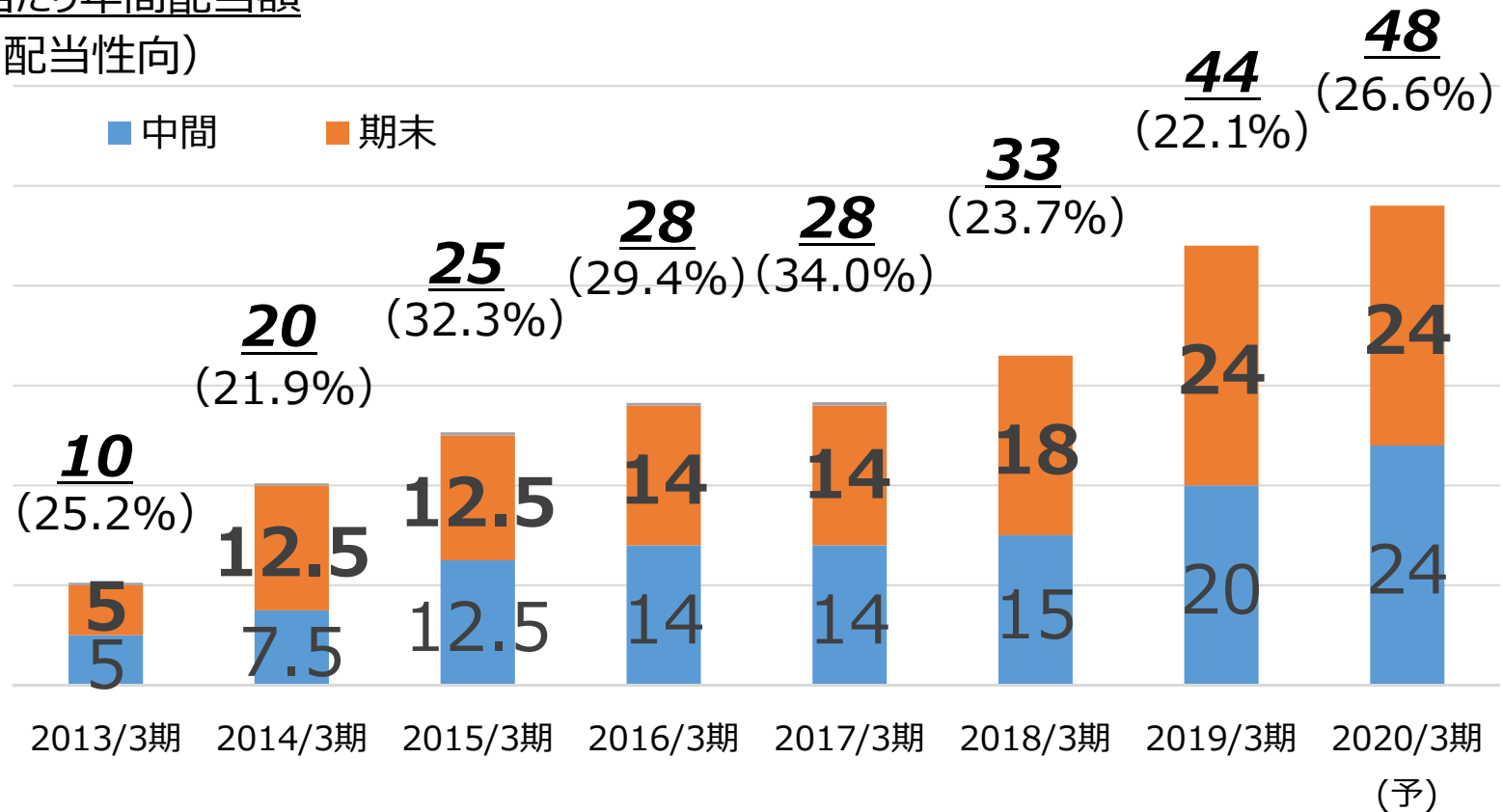
注 為替レート (2019/3期→2020/3期) :

USD 110.9→108.9円 CAD 84.6→82.4円 EUR 128.4→121.4円 RMB 16.7→15.8円

# 株主還元方針／配当予想

配当性向20%以上を目処に  
年間配当額44円 から48円に増配予定

## 1株当たり年間配当額 (配当性向)



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014/3期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2020年3月期 第3四半期 決算報告

2

2020年3月期 見通し

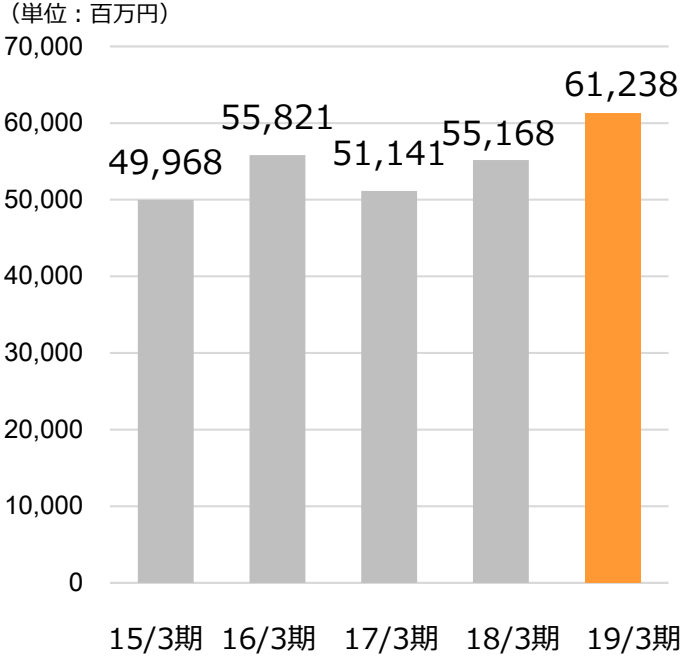
3

参考資料

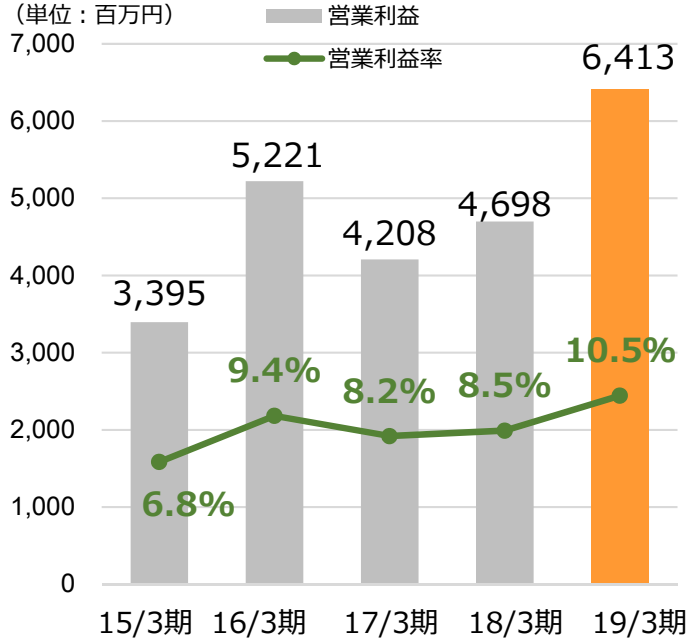
- 過去5期分の業績・財務情報（2015年3月期-2019年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）
- 事業構造について

# 業績・財務情報

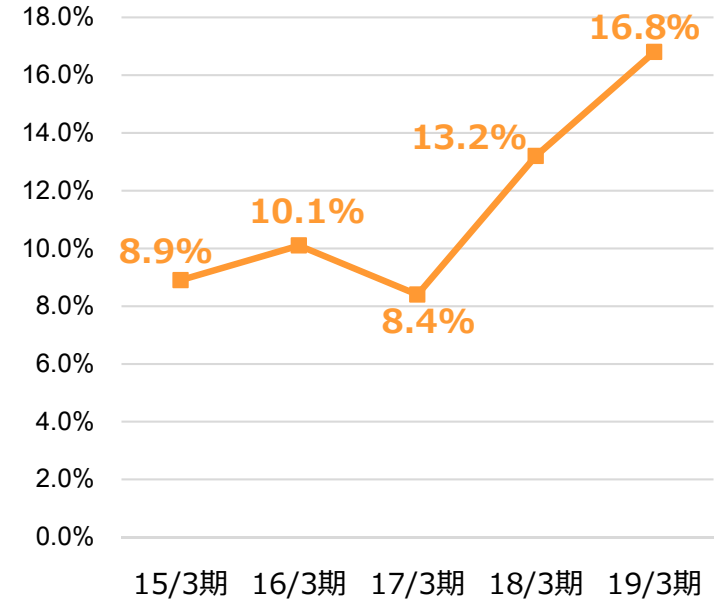
## 売上高



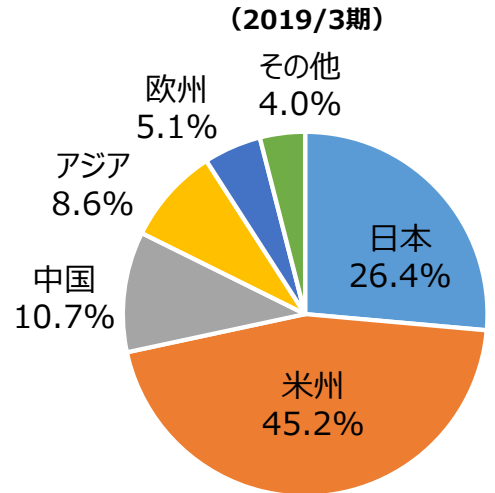
## 営業利益・営業利益率



## ROE



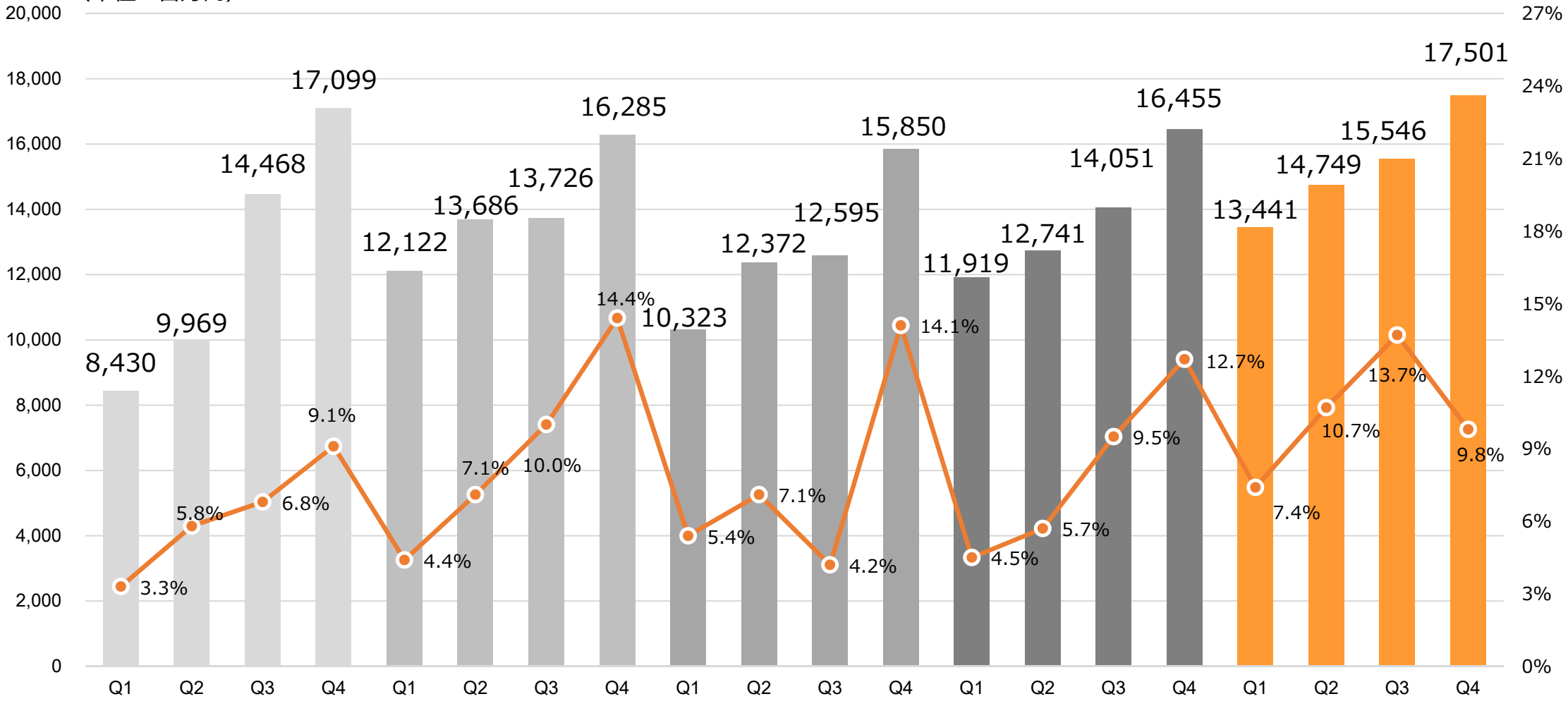
## 地域別売上高比率



	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
海外比率	76.6%	77.3%	74.3%	76.0%	73.6%
為替平均レート					
USD	109.9円	120.1円	108.4円	110.9円	110.9円
CAD	96.5円	91.8円	82.5円	86.5円	84.6円
EUR	138.8円	132.6円	118.8円	129.7円	128.4円
RMB	17.2円	19.2円	16.4円	16.6円	16.7円
設備投資額(百万円)	1,408	2,013	2,393	1,411	1,416
減価償却費(百万円)	1,311	1,814	1,792	2,116	2,470

# 売上高および営業利益率（四半期比較）

(単位：百万円)



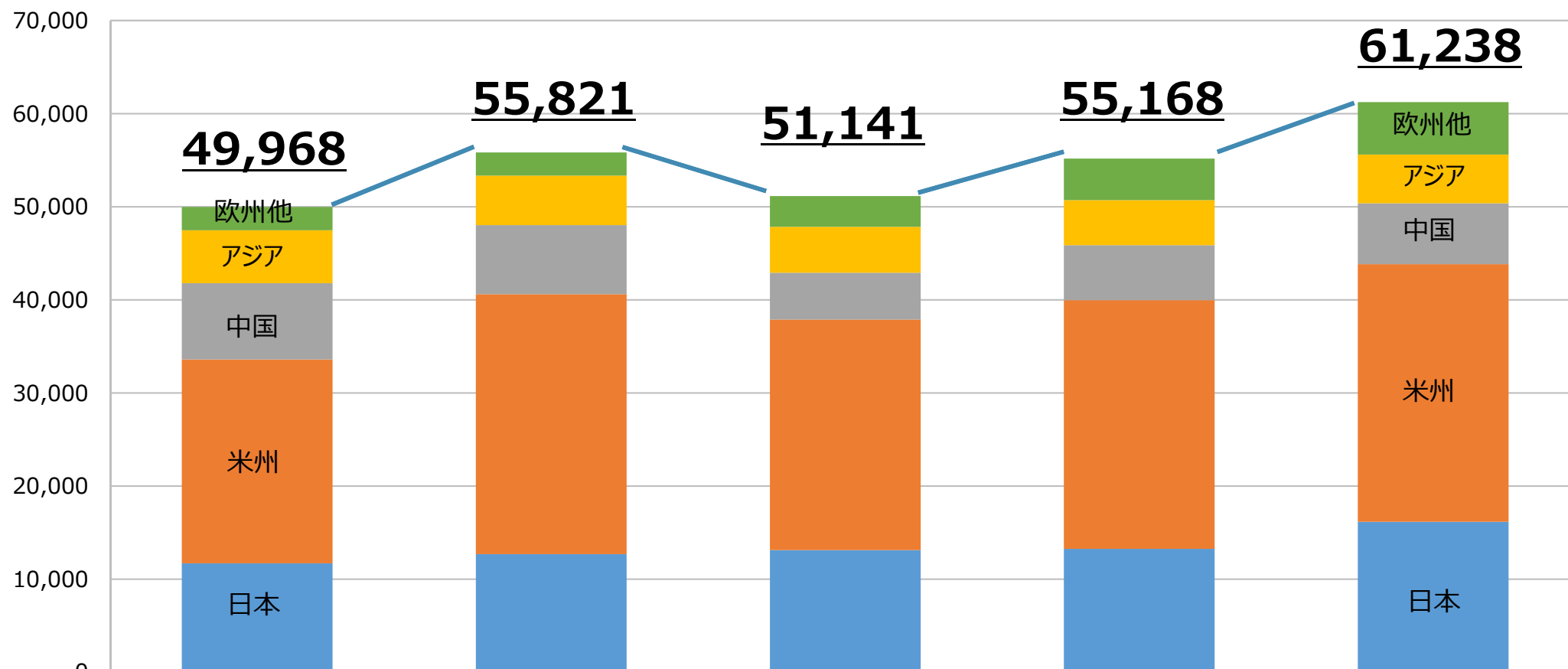
営業利益

280 575 987 1,553 538 966 1,371 2,345 561 876 532 2,239 538 730 1,338 2,092 992 1,572 2,131 1,717

2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
売上高 49,968	売上高 55,821	売上高 51,141	売上高 55,168	売上高 61,238
営業利益 3,395	営業利益 5,221	営業利益 4,208	営業利益 4,698	営業利益 6,413

# 地域別売上高推移

(単位：百万円)



	2015/3期	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期
■ 欧州他	2,500	2,479	3,308	4,465	5,634
■ アジア	5,676	5,321	4,925	4,837	5,239
■ 中国	8,198	7,418	5,034	5,903	6,539
■ 米州	21,888	27,909	24,742	26,700	27,663
■ 日本	11,702	12,692	13,129	13,261	16,162

# 中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)



# 基本方針

## 3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。

経営目標

2021年3月期



## 3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

### 1 高収益体質への回帰

- ・生産設備リニューアル
- ・高収益事業への集中

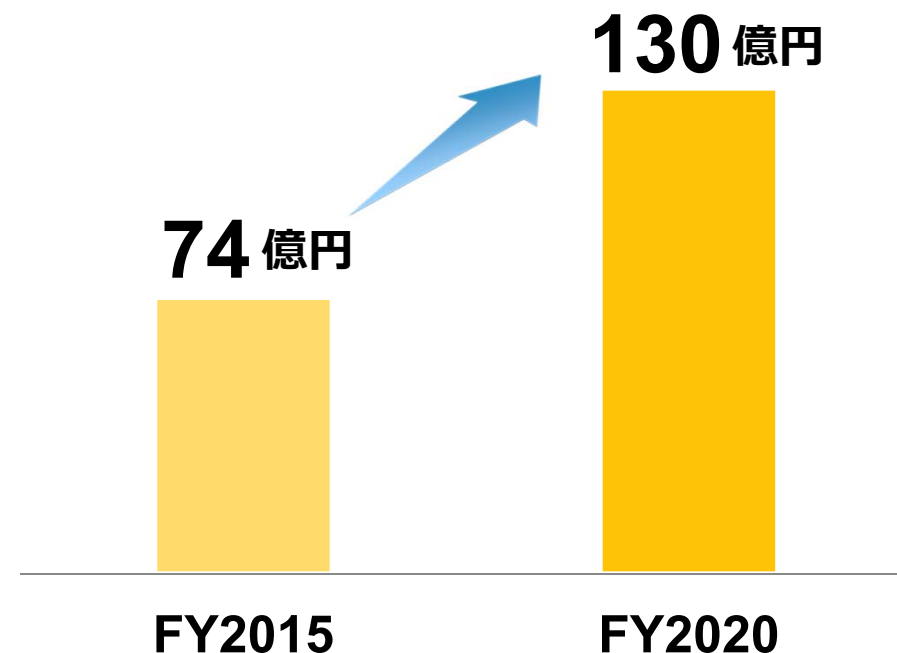
### 2 製品ポートフォリオ拡充による成長

- ・新製品の投入
- ・M&Aによる拡充
- ・既存製品の新市場への投入加速

### 3 真のグローバル企業への組織進化

- ・グローバル人材の採用と育成
- ・主要拠点における統一基幹システムの導入
- ・グループ内統一マーケティング・データベースの構築

Financial Target (EBITDA)



Phase1(基盤強化) から Phase2(本格的成長) へ

## “Lifting Expectations”



# 事業構造

## モノを持ち上げ、運び、固定する作業に不可欠な、 マテリアルハンドリング機器の リーディングカンパニー



**経済の発展段階に応じた需要**

**特定の業界の動向に依存せず**

**成熟製品でありながら成長産業**

## ■ クレーン

ホイストとの組合せで3次元の動きを実現



## ■ ホイスト（巻上機）

主力はクサリ(チェーン)式(電動・手動)  
ワイヤロープ式もラインナップ(電動)  
(中国においてはロープ式が主力)



## ■ ビローフックデバイス （吊り具）

ホイストで荷物を吊り上げる際の  
中間アタッチメント



## ■ 各種クサリ製品

運搬・移動・固定・牽引  
船舶、農林業、タイヤチェーンなど



# 顧客ニーズの拡大

## 環境エネルギー関連

## クリーンルーム



## 天然資源



## 風力発電



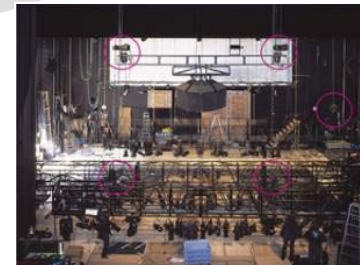
## 太陽光発電



## 食品



## エンターテインメント



## 運輸



## 鉱業



## 建設・土木



## 造船



## 航空産業



## 製造業





## “KITO” = “信頼のブランド”

### 製品力

- 耐久性
- 高性能
- 安全性
- 操作性

### 技術力

顧客の複雑なニーズへの高い技術対応力（エンジニアリング）

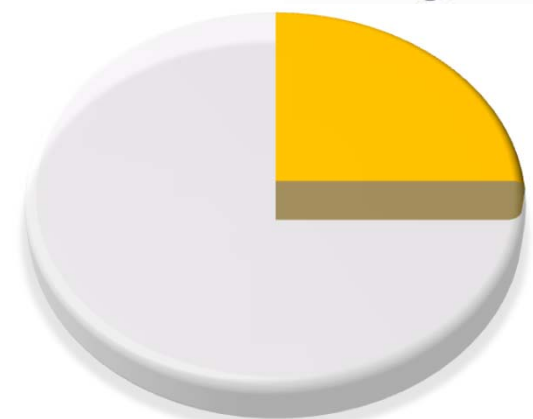
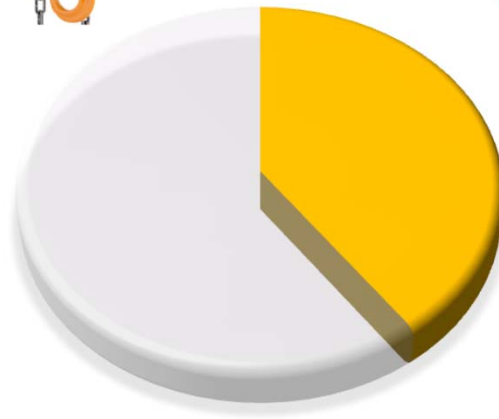
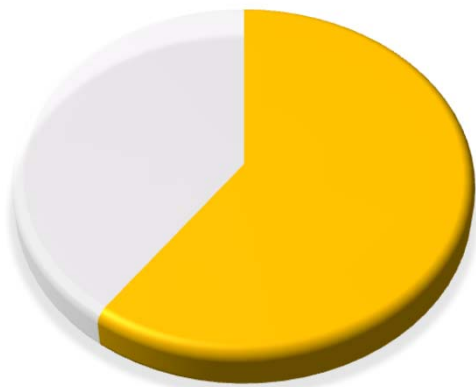
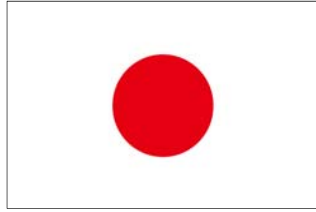
### サービスネットワーク

広範なネットワークによる顧客満足度の高いサービスを実現



高付加価値製品・サービスの提供により差別化を実現  
高品質市場での高い評価

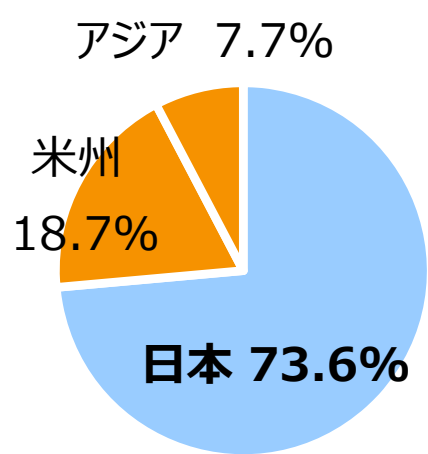
# 信頼に基づく高いシェア



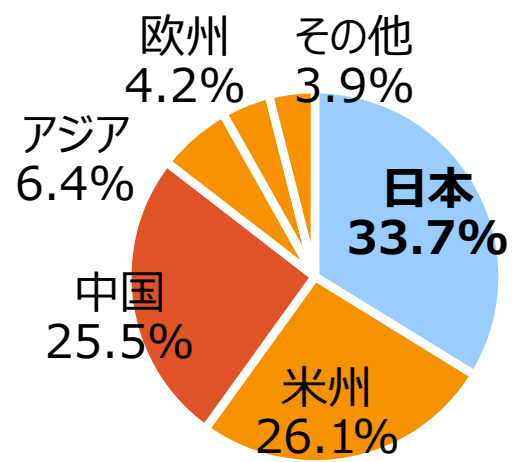
# 海外市場での成長

- 海外市場での成長により、地域分散の効いた事業ポートフォリオ構築
- 特定地域の需要動向に振られることなく、着実な成長を実現

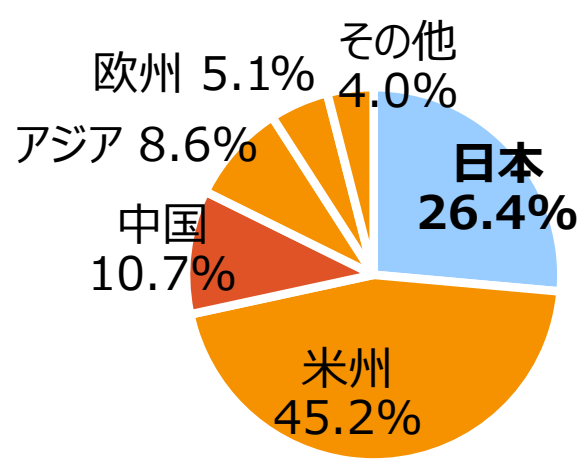
FY2000 売上高227億円  
海外売上比率 26.4%



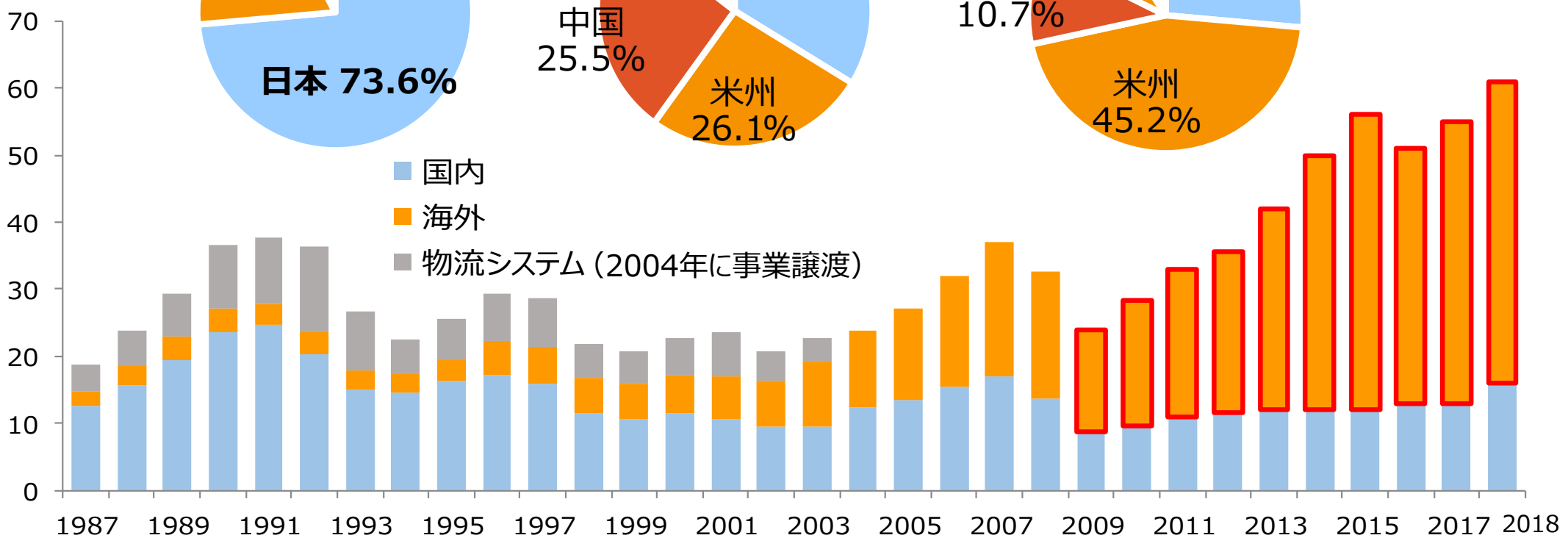
FY2010 売上高280億円  
海外売上比率 66.3%



FY2018 売上高612億円  
海外売上比率 73.6%



単位: 10億円



# 中国事業について

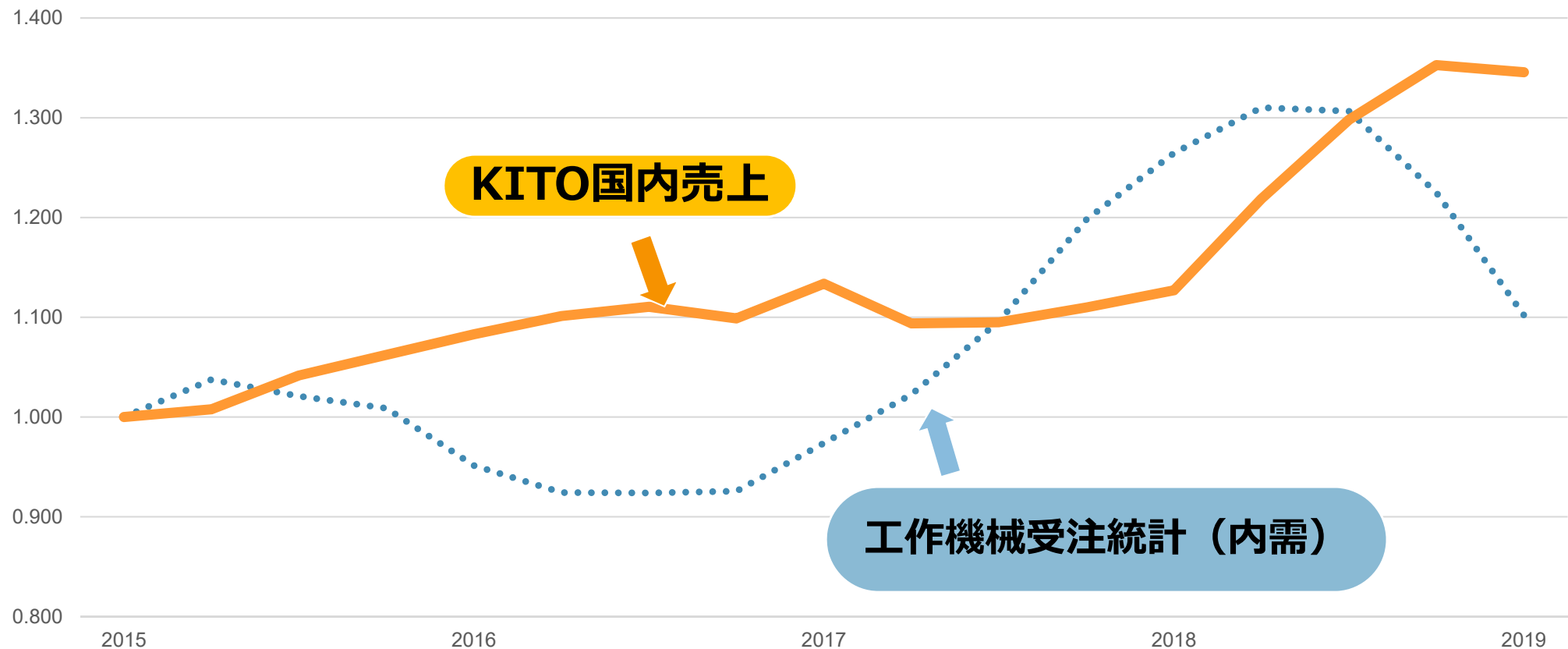
- 全体の設備投資需要が弱含むなかで、好調業種のニーズを捉えると共に、安全意識・品質意識の高まりにより、シェアが拡大
- 高い利益水準を安定的に確保、過去7期の営業利益率は平均10.8%
- 中国生産の90%以上を、中国国内市場向けに販売

	江陰キトー（1995年 設立）	上海キトー（2004年 設立）
製 品	ワイヤーロープホイストを中心に、 現地生産・現地販売	日本製チェーンホイスト製品の輸入販売
ターゲット	現地の製造業一般	日系を含む外資系企業、中国大手企業
FY2018 売上規模	約3.6億RMB	約0.7億RMB

# 市場動向に左右されにくい顧客基盤

- 民間設備投資、公共投資を問わず、広範な顧客基盤
- 特定の業界や、市場サイクルの影響を、受けにくい事業構造

工作機械受注統計（内需）      キトー国内売上推移（12ヶ月移動平均）  
（2015年4-6月期を「1」とした指数変動）



KITO国内売上

工作機械受注統計（内需）